

母子感染の予防

お母さんのむし歯菌が子どもに感染する**母子感染**が問題になっています。授乳時期はお子さまの将来のお口の健康にとって、とても大切な時期です。ご一緒にお子さまのお口の健康を考えましょう。

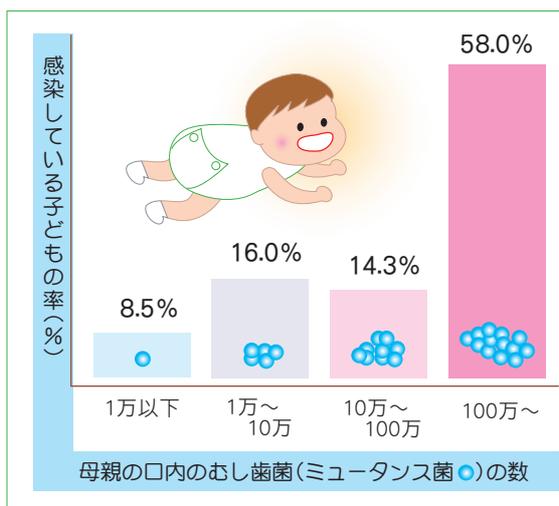
母子感染を防ぐために気をつけたい事は？

口移しでものを食べさせたり、大人が使った箸で赤ちゃんに食事をさせたりすると、ミュータンス菌などの細菌が増えてお口の中の病気の原因となる事があります。

生後1才半から3才がむし歯菌の住み着く時期です。

しかし、子どもとのスキンシップを止めることはありません。

なによりも、お母さんのむし歯の治療や予防が大切なのです。



お子さんのむし歯予防には、まずお母さんのお口の健康が大切です。

左のグラフは、お母さんのお口の中のばい菌の数とその子どもたちのむし歯になる割合を示しています。お母さんのお口にばい菌が多いと子どももむし歯になる可能性が高くなるのがわかります。

お母さんのお口の健康状態について歯科医院で検査してもらい、むし歯予防のアドバイスをしてもらいましょう。

右のグラフは、歯科医院で治療やお口の清掃をもらった母親としなかった母親で子どものむし歯のでき方の違いを表したものです。

お母さんのお口をきれいにすると子どももむし歯ができにくくなりますね。

ミュータンス菌を大量にもっている母親が

